

NZSJ は 1959 年 11 月から数えて、今年は創立 59 年目を迎えております。

日本ニュージーランド協会ニュースレター

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN

W A I H E K E

2018 年 4 月号

HP: <http://nzsj.tokyo>

日本 NZ 協会と日本 NZ 学会の合同研究会

日時：2018 年 4 月 21 日（土）14 時開始

（13 時 30 分受付開始）

会場：日本大学文理学部 百周年記念館 2 階 会議室 2

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

京王線 下高井戸駅または桜上水駅から徒歩 8 分

第 1 報告（14:00～）

庄司 桂一郎（気象庁航空予報室技術専門官、日本 NZ 協会）

「航空機の運航と気象情報」

第 2 報告（15:30～）

久井田直之（日本大学経済学部）

「ニュージーランドの経済学テキストを用いた英語による経済学教育の可能性」

質疑応答（16:30-17:00）

懇親会（17:30 - 19:00） 会費：4000 円

カフェレストラン「ティファニー」

杉並区下高井戸 1-22-2

電話 03-3304-1189

京王線 桜上水駅より徒歩 2～3 分

※ 懇親会の参加希望者は 4 月 16 日(月) までお知らせ下さい。

連絡先：日本ニュージーランド協会公式メールアドレス: nzsj@outlook.jp

季節のご挨拶(2017 年) - その1 -

今年もあと僅かとなりました。一年でいちばん、緑の濃い季節となりました。蟬がなき、鳥たちも元気に活動しています。寒く、そして雨の多い冬も終わり、ほっとして夏を迎えています。

この NZ に居を構えて、今年で 8 年になります。この間、ここでの生活のパターンを作り上げてきました。ここにいる時には、朝のうちに台所仕事、掃除、原稿書き、翻訳(仕事)、身辺整理をし、午後には天気さえよければ外に出ます。畑のこと、家の修理・手入れ、風で落ちてきた枝の処理、薪作り、草刈り、外掃除などの仕事がたくさんあります。

そして、年 2 回の日本への帰国。NZ は歴史が短いこともあり、あまり文化的には見るべきところも、することはありませんが、日本に帰るとたくさんあり、嬉しくなります。この帰国に合せてヨーロッパなどへも足を延ばしています。年 2 回、旅に出ることで、一年の生活の区切りとして、くつきりと句読点を打つことができます。



NZ での生活、考えていることなどを今年も纏めました。文中に H とあるのはヒトシ、J はジリアンのことです。今年も長くなりましたが、お読みいただけると幸いです。

夏を迎える

今年の夏は、突然やって来ました。12 月の最初の土曜日、急に晴れ上がり暑くなりました。それまでは暖かかったり、寒かったりしてたのが、ど〜んと暑くなり、そのままの今日まで続いています。ただ暑いといっても、汗が出てくるほどのことはありません。

12 月ともなると、台所の流しに立つと右手から夕日が差し込むようになります。夏を迎える準備を始めるサインです。暑くなるのが早かったため、仕事も早くから忙しくなりました。ストーブを焚かなくなったので、部屋の中に置いてあった薪を外に出しました。ストーブの熱を逃がさないように、部屋のまわりにぐるりと布を吊るしてあったのを外しました。自分で作ったはめ込み式の障子を窓に取り付け、障子のない窓にはカーテンを取り付けていましたが、これも外しました。これで、ぐっと部屋が明るくなりました。

コタツの布団とカバーも片付けましたが、コタツは机代わりとして残して年中使います。

鳥が煙突からストーブに入ってこないように、煙突の先に木の筒を差し込みます。これまでに、ストーブを焚かなくなってしばらくして、煙突の中に鳥が巣を

作ってしまったことがあったからです。

そうこうするうちに、クリスマスカードが届くようになります。これをアンティークの木製のキャビネットの上に飾ります。J の母親から引き継がれたキリスト生誕のシーンを再現した粗末な小屋、キリストとそれを取り囲むマリア、3 人の賢者、羊飼いの飾り付けをします。J のコレクションの天使たちも並べます。これはクリスマスを過ぎても飾り、年が明けてから片付けます。

12 月は北半球と違い、夏にクリスマスと新年とを祝うことになります。大掃除まではしませんが、冬の間に使ったものを片付けるのも、かなりの手間です。ガーデニングも忙しい時期を迎えます。新年には、醤油味のカシワとネギだけの具の少ない雑煮で祝います。それに入れるもちを手に入れるため、オークランドまで買出しに行きます。

12 月 20 日からは焚火禁止となります。乾燥する夏場は、焚火による延焼の恐れがあるため、この措置が取られます。剪定した枝などが毎日のように出ますから、この日以降、大きな山になっていきます。

12 月 22 日は夏至。

12 月 25 日はクリスマス。町の飾りつけも音楽もあまりありません。

ガーデニング 野菜

時間差

今年は全体に仕事が遅れています。畑の準備ができないと、タネが播けません。そこで一つの対策として、タネをポットに播き、畑の準備ができたなら、それを植えるようにしました。ナス、インゲン、カボチャなどは、その方法が一般的ですが、ニンジン、ダイコンもポットで育てたものを移植しました。

根菜類

作りやすい、保存しやすい、体にいいといった理由で、根菜類をなるべく作るようになってきました。カブ、サツマイモ、ニンジン、ゴボウといったあたりです。

自給率

自家菜園は、たいへんな仕事ですが、なかなか楽しいものです。天気さえよければ、午後は野菜や果樹の手入れをしています。自家菜園でできたものの自給率を上げたら、その分、買わなくてもいいのですから経済的です。野菜の場合、採れるのが集中する時期があります。保存できればいいのですが、できないとなると毎日、毎食、同じ野菜を食べ続けることになってしまいます。ということで、あまり自給率を上げることに執着していません。

重点野菜

今シーズン、いちばん注目しているのはカボチャです。カボチャといっても NZ

のものではありません。NZ のカボチャは、スープやパイなどの料理に使われます。日本のカボチャは寒い時期に、ゆっくり煮込んで食べますが、形が崩れず美味しいです。夏には家を留守にしますが、こちらに戻ったときに収穫できますから、大いに期待しています。

パースニップ

今、栽培している中で、いちばん丈夫なのはパースニップ(parsnip)という野菜があります。日本名では、白にんじんと呼ばれたりします。根の部分を食べるのですが、雑草に混じっても負けることもなく育ちますし、病虫害にもやられません。花が咲いた後、自然に落ちたタネが翌シーズンには芽を出して育ちます。収穫の時期はいつでもいいので、便利な野菜です。

ガーデニング 果樹

キウイフルーツ

昨シーズン、初めて実が成りました。キウイフルーツは、オスの木とメスの木がないと実が付きません。もともとオスの大きな木が生えていましたので、数年前、これにメスの枝を数本、接木したことがあります。接木は成功したのですが、強風で継いだ部分が折れていたのを目にしました。それで接木は、すべて風で失敗したものと思い込んでいました。このキウイ、旧ガレージの金属の屋根に枝が広がっています。偶然に屋根に上ったところ、実が成っているを見つけました。

冬には剪定、誘引をし、追加の接木もして、大切に育てています。最近、甘いゴールデンキウイという品種があります。次の冬には、これを接いでみるつもりでいます。

アプリコット

40mはあろうかというノーフォークパインの木陰にアプリコットはあります。ほとんど日に当たらないのですが、今年はいくつも実をつけ、成熟しました。ちょうど実の色がオレンジとなり、鳥が集まって啄ばんでいるのを見て、収穫の適期と知り、採りました。

ウメ

今年も 3 個の収穫がありました。木の丈は 4m 近くと、立派な成木となりました。1 本の木だけでは成りにくいにもかかわらず 3 個の実をつけたのですが、これだけ大きくなれば、もっと実をつけてもいいのにと感じてしまいます。全く不思議な木です。将来、たわわに実をつけ、自家製の梅干しができよう願っています。

ブドウ

先のシーズンには、時期がずれて 2 回に亘って収穫できました。今シーズンはよく成っている所と、そうではない所とがあります。夏になり剪定をし、わき芽

を取り、誘引しています。どうもよく成っていない所は肥料分が足りないようです。近いうちにコンポストを施そうと思います。

レモン

どうしてこんなに実が成るのかと思うくらいわわに実をつけています。とりたてて何をするということもしていません。収穫の時期が長いので重宝しています。

オリーブ

2 本の木があります。相当に大きくなってきたのですが、まだ実が付きません。実が成るのを楽しみにしています。

リンゴ

矮性リンゴが 3 本あります。品種はゴールドデンリシャス、ローヤル・ガラ、ふじです。3 本は同級生ですが、ゴールドデンリシャスは毎年、たくさんの実をつけるため、木はなかなか大きくなりません。その反対にローヤル・ガラは、花は咲いても実が残りません。木は大きくなるばかりなので、この夏に接木してみます。ふじは、いい具合に育っています。

モモ

病害虫がひどく、見通しはよくありません。

その他の果樹

フィジョア、オレンジ、ワインベリー、洋ナシがあり、手はほとんどかけませんが、時期になると実ります。

続く

ジリアン・ヨーク理事

2017 年 クリスマスパーティ報告

2017 年 12 月 2 日(土) 18:30 に、渋谷のニュージーランド大使館すぐ側の New Zealand Platform(ニュージープラットフォーム)の3階へ15名が集い、恒例のクリスマスパーティを開催しました。



ニュージーランド大使館より宮崎さん、伊勢原より声楽家の高松京子さんをゲストにお迎えして、ニュージーランド料理と、同じくニュージーランドの絶品ワインを思う存分堪能しながら、楽しいひと時を過ごすことができました。

パーティの冒頭において山崎会長より、神谷、片山の両会員に理事として活動してもらいたいとの提案があり、全員了解の下で了承されました。

ニュージーランド大使館よりお越しいただいた宮崎さんからは、『2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピックを控え、皆様に NZ の応援をしていただく機会が増えることと存じます。引き続きご協力賜れますよう宜しくお願いいたします。NZSJ の益々のご繁栄を祈念申し上げます。』とのお言葉をいただくことができました。



宴たけなわの中で、9 月中旬にジリアン理事の案内でニュージーランドを訪問された田中会員より、現地での体験された様子を報告していただきました。残念ながらご主人を残しての旅となってしまったようですが、ジリアン理事の自宅を

訪問し、現地の小学校では折り紙教室を開いた話など楽しかった思い出を、たっぷりの笑顔と共に熱く語って下さいました。

また、10月中旬に10年ぶりのニュージーランドを訪問された山崎会長と、同行された生沼理事からは、現地でのエキサイティングな体験について報告がありました。本年5月に来日されたNZ協会の今井久美子ご夫妻(ダックスフィールドご夫妻)とのランチタイムにおいて、互いのホームページ同士の連携を深めて行こうと言うと話し合った内容、生沼会員のホビット映画セット訪問のお話など、思わずワクワクするような体験記を披露していただきました。

続いて西森会員より、代表を務められている国際児童親善友好協会の活動の様子を7月のワインパーティに引き続き熱のこもった雰囲気の中でお話いただきました。

何本ものワインが空となり、パーティが進む中盤では、八木倫明、片山コンビの二重唱+ケーナ伴奏による『広い河の岸辺』に引き続いて八木倫明のケーナ×片山のミニサックスによる『ホワイトクリスマス』、さらには高松京子さんによる『ウィーン我が夢の街』の独唱が披露され、パーティをさらに盛り上げることができました。



パーティの最後には、3本だけ用意されたクリスマスプレゼントを巡って、壮烈なジャンケン合戦が繰り広げられ、ラッキーな山崎会長、神谷理事、山田会員のトリオが満面の笑顔の下で極上のニュージーランドワインを手に入れました。



和やかで楽しい雰囲気の中で2017年最後のイベントが滞りなく繰り広げられ、あっという間に終焉に時間を迎えました。閉会の後でも、1階のコーヒーカウンターに半数以上が残り、コーヒーを飲みながら名残を惜しんだほどの盛り上がりの中、互いに良い新年を迎えることを祈りながら帰途につきました。

NZSJ 片山 愛一理事

2018年度 日本ニュージーランド協会会長ご挨拶

2018年の活動も4月のニュージーランド学会と日本ニュージーランド協会との共同研究会からスタートです。

活動としては、7月のワインパーティ、12月クリスマスパーティ、など、毎年5回のアクティビティを計画しております。

昨年より当会のホームページを立ち上げましたので、たくさんの皆様に御覧いただき、ニュージーランドの最新情報などを共有できればと存じます。 今後はより発展的にニュージーランド関連組織の方ともつながりが広がるかと期待しております。 現在はオークランドの日本ニュージーランド協会の今井ダックスフィールド会長ご夫妻と活動の幅を広げられるように企画の協力を進めております。

おかげ様で、今年は当会も2018年11月で創立60周年を迎えるに至りました。歴代の会長が当会を大切に継承されてきましたので、この絆を無駄にすることのないように日本とニュージーランドの友好関係を築いていきたい所存です。60周年記念の企画も計画中ですので、皆様にはホームページ、ニュースレターでご連絡させていただきます。

日本 NZ 協会 会長 山崎 弘子

年会費納入お願い 会員の方は2017年度の年会費3,000円を例会ご出席時にお支払い願うか、郵便局でお振込み下さい。振込はゆうちょ銀行 記号10180 番号 74818531 名前 ニホンニュージーランドキョウ。なお郵便局の振替用紙(払込取扱票)を用いるときは口座記号番号:00190-1-743478 加入者名: 日本ニュージーランド協会をお願い致します。

次回例会

5月に講演を予定しています。

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN(日本ニュージーランド協会)

2018年度理事(会長以外は50音順)

会長:山崎 弘子 理事:麻生 敏子、生沼 玲子、真島 由香、佐藤 松雄、
島田 勝弘、庄司 桂一郎(副会長)、丸山 有紀子(会計)、水野 伸夫(副会長)、
Jillian Isabelle Yorke、 顧問:黛 雅男